

UNITED NATIONS



NATIONS UNIES

UN House, 8th Floor  
53-70, JINGUMAE 5-CHOME  
SHIBUYA-KU, TOKYO 150-0001  
TEL. (03)5467-4451  
FAX. (03)5467-4455  
UN Home Page  
<http://www.un.org>

## 国際連合広報センター UNITED NATIONS INFORMATION CENTRE

〒150 東京都渋谷区神宮前5丁目53-70  
-0001 UNハウス8階  
電話 (03) 5467-4451  
FAX. (03) 5467-4455  
<http://www.unic.or.jp>

(広報資料)

プレスリリース 05/037-J

2005年4月14日

### 「愛・地球博」国連館で写真展開催 「A DAY IN THE LIFE OF AFRICA」特別展 ～ミレニアム開発目標の達成に向けて～

2000年9月の国連ミレニアム・サミットで、世界の指導者たちは貧困、飢餓、病気、非識字など地球規模の問題を解決するため、「ミレニアム開発目標(MDGs)」の設定に合意しました。以来、この目標達成に向けた国際社会の取り組みが続いているが、昨年9月に発表されたコフィー・アナン国連事務総長の進捗状況報告では、サハラ以南アフリカ諸国などの最貧国では進展が見られないことが示されるなど、さらなる努力が求められています。

この度、「愛・地球博」を訪れる人々に、MDGs達成の鍵としてその動向が注目されるアフリカとMDGsへの関心を高めてもらおうと、写真展「A DAY IN THE LIFE OF AFRICA～100人の写真家が見たアフリカの一日」特別展を開催する運びとなりました。この写真展は2003年以降、ニューヨークの国連本部をはじめ国内外で展開されており、万博会場では国連広報センターが、本プロジェクトにメインスポンサーとして参加したオリンパス株式会社と共に、MDGsに関連した作品を選んで展示します。アフリカに生きる人々の姿を素直に写し出した作品を通して、MDGs達成に向けた課題や自分自身が何ができるかを考える機会となるでしょう。

タイトル：「A DAY IN THE LIFE OF AFRICA」特別展

～ミレニアム開発目標の達成に向けて～

期 間：2005年4月24日(日)～5月14日(土)

場 所：愛・地球博 国連館（グローバル・コモン2）シアター内

時 間：国連館運営時間に準ずる

4月24、25日 9:30-21:00 (入場は20:30まで)

4月26日以降 9:00-21:30 (同21:00まで)

主 催：国際連合広報センター

共 催：オリンパス株式会社

期間中、毎日先着1,000名に「A DAY IN THE LIFE OF AFRICA」特製フォトカード(3枚組)を、さらに初日には先着100名に特製フォトカード(14枚組)を差し上げます。

A DAY IN THE LIFE OF AFRICA プロジェクトの詳細については、ウェブサイト  
<http://www.olympus.co.jp/jp/event/DITLA/> をご覧ください

## 【補足資料】

### A DAY IN THE LIFE OF AFRICAについて

2002年2月28日、日本人2人を含む約100人の世界的な報道写真家により、24時間でアフリカ大陸を丸ごと写真に収めるという壮大なプロジェクトが実施されました。\*

人であふれかえるマラケシュの市場から、風が吹きすさぶナミビアの砂漠まで。写真家たちはアフリカのさまざまな場所に立っていました。ルワンダのマウンテンゴリラ、ニジェールのスルタンの宮殿、ヒップなラゴスの音楽シーン、静寂と威厳に包まれたザンビアのAIDSホスピス。彼らはアフリカ全域の家庭、学校、職場に赴き、1日の間に繰り広げられるアフリカの生活をありのままに切り取って、鮮やかなタペストリーを織りあげたのです。

このプロジェクトは、オリンパスの提供したデジタル撮影機材(一眼レフカメラ・プリンタなど)により、初めてデジタルカメラによる全面的な撮影が実現したことでも話題になりました。この撮影の成果をまとめた写真集「A DAY IN THE LIFE OF AFRICA」は、英語、仏語、独語で発売され、その収益は全額、プロジェクト事務局を通じてアフリカのエイズ教育基金に寄付されます。

また2003年からはオリンパス株式会社の主催により世界各地で写真展が行われています。2003年6月に東京、8月に神戸、11月に韓国・ソウル、2004年2月に韓国・釜山、5月に熊本、10月に中国・上海で、それぞれ大規模な写真展が開催され、好評を得ました。2003年9月には、日本政府、国連、NGOが主体となる第3回アフリカ開発会議(TICAD3)の会場内でミニ写真展を開催、オリンパスから外務省を通じてアフリカ各国大使に写真集が贈呈されました。

更に2003年10月にはUNDP(国連開発計画)とオリンパスとの共催により、ニューヨークの国連本部にて、国連の「貧困撲滅デー」のイベントの一環として写真展が行われました。この写真展のオープニングには、国連からアナン事務総長夫人、2名の国連事務次長をはじめとする方々が出席し、その会場にて東京での写真展収益の全額33,000ドルが「ミレニアム開発目標」\*\*に寄付されました。

\*「A Day in the Life of Africa」プロジェクトは、オリンパス、ファイザー、アンホイザー・ブッシュ、シェブロン・テキサコ、(以上、特別協賛)、またアップル、世界銀行を始めとする各社、各団体の協賛によって実現しました。「A Day in the Life of Africa」は、HarperCollins Publishersの登録商標です。

\*\*「ミレニアム開発目標」：2000年、国連ミレニアム・サミットで採択された15カ年計画。世界の貧困と飢餓の撲滅、初等教育の達成、男女平等、エイズ撲滅など8つの目標を掲げた運動を展開するもので2003年度が初年度にあたります。

